

長瀬町子育て支援事業

—No. 54 長瀬町—

【事業の目的】

地方創生拠点整備交付金を活用して整備した「多世代ふれ愛ベース長瀬」(愛称：ふれ愛ベース)を子育て中の親子や地域住民が気軽に集う場として活用するとともに、多世代が交流できる公園を整備します。

次世代を担う子供たちに対して、幅広い学習機会や個別学習のサポートを実施することで、子育てから教育まで一貫した支援を行います。

【事業の内容】

○地区公園整備事業

社会資本整備総合交付金を活用して、長瀬地区・本野上地区・井戸地区に公園を整備します。

○子育て支援事業

ふれ愛ベースを中心に、未就学児の子供と保護者を対象としたイベントを企画します。子育て中の親子が気軽に集い、新たな出会いの場として活用します。

○子育て支援金の拡充

子育て家庭の経済的負担を軽減するため子育て支援金の額を拡充し、子供の出生時に支給します。

- ・ 1人目 30,000円
- ・ 2人目 50,000円
- ・ 3人目以降 100,000円

○放課後子供教室

放課後に児童が安心して活動できる場を確保するため、各小学校で郷土芸能活動などの様々な活動の体験を通い、豊かな人間性を育みます。

○中学生学力アップ教室

中学3年生を対象に、高校入試を目指した数学、英語の基礎的内容の学習支援を中央公民館で行い、学習意欲の向上、学力アップを目指します。

【事業年度】

平成30年度

【予算額(千円)】

121,660千円

【財源】

社会資本整備総合交付金、埼玉県放課後子供教室推進事業等補助金、
中学生学力アップ教室事業費補助金、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略のアンケートにおいて、「親子が安心して集まれる場の充実」、「公園や遊歩道の整備」及び「教育・文化・生涯学習行事などの充実」に対する要望が多くあり、妊娠期から子供の教育まで切れ目のない支援を充実することにしました。

【事業のPRポイント】

ふれ愛ベースを妊娠期から子育て期までの支援を行う、子育て世代包括支援センターとして位置づけるとともに、親子や地域住民が気軽に集まれる公園を整備することで住民が交流できる場を充実させ、子供の育児に関する悩みや不安を解消できる環境を構築します。

放課後子供教室は、子供の安全な居場所を確保するとともに、予習、復習、補習等の学習の場、郷土芸能活動の体験の場、地域住民との交流の場として様々な事業を企画し、各種活動を通して子供の豊かな人間性を育みます。

中学生学力アップ教室は、8月から2月の土曜日に計20回開催し、高校入試に向けた学習支援を行うことで、学習に苦手意識のある中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着を図ります。

【今後の展開】

町の女性就業率（30～39歳）は、78.4%と埼玉県内で一番高いことから、一人ひとりにあわせてきめ細やかな子育て支援や教育環境の充実を図ることで、働きながら子育てしやすいまちづくりを目指します。

〔 連絡先 〕

企画財政課 企画財政担当

0494(66)3111(内線221)